



2017年を迎えました。冬休み中はどんな本を手にししましたか？3学期は短いですが、図書館報も変わらず発行していきます。新刊もまだまだ入荷予定です。楽しみにしてください。冬休み前に借りた本の返却期限は1月10日でした。期限を過ぎてている人は早く返却しましょう！



さて、今年は酉年です。それにちなんで今回は“鳥”にちなんだ本を紹介합니다。鳥の図鑑、写真集やタイトルに鳥の名前がついた小説などたくさんあります。紹介している本は館内のテーマ展示コーナーに並べています。紹介し切れていない本も展示しているので、ぜひ図書館へ！！(▽^)/



『世界の美しい鳥』 上田恵介/監修

宝石のような野鳥から、花のような小鳥まで。世界の空を彩るおしゃれで華やかな鳥たちが魅せる配色、造形美！色とりどりの世界の鳥、約180羽を紹介。

『鳥の名前』 大橋弘一/文・写真

日本人は鳥に何を感じ、どう表現してきたか。名前の由来、古名、鳥を詠んだ詩歌などを美しい写真とともに紹介し、「野鳥」の新たな見方を提案する。

『ペンギン、日本人と出会う』 川端裕人/著

自然環境下では一羽も棲息していない日本が、北半球随一の「ペンギン大国」に成長した理由とは。“カワイイ”だけではないペンギンの意外な素顔。



『はとの神様』 関口尚/著

小学5年生のみなと、悟、ユリカは、周囲となじめない日々を過ごしていた。居場所のない者同士、響き合った三人は、迷子のレース鳩をつかまえたのをきっかけに、自分たちだけで鳩を飛ばしに遠く稚内を目指す。少年たちの冒険と成長を描く。



『鳥たち』 よしもとばなな/著

家族を失い、天涯孤独で身を寄せ合う「まこ」と「嵯峨」。お互いしか癒やせない孤独を抱え、かすかな光へ歩き出す道のりを描く。ふたりの恋と、魂の救済の物語。

『かもめ食堂』 群ようこ/著

ヘルシンキの街角にある「かもめ食堂」。日本人女性のサチエが店主をつとめるその食堂の看板メニューは、彼女が心をこめて握る「おにぎり」。普通だけどおかしな人々が織り成す、幸福な物語。

『うずら大名』 畠中恵/著

「御吉兆！」と鳴く勇猛果敢な鶉(うずら)を連れた若き隠居大名・有月。泣き虫で人に振り回されてばかりの村名主・吉之助。昔なじみだった二人が再会し、江戸を揺るがす難事件、背後にうごめく策謀に挑む！

『鳥と花の贈りもの』 串田孫一/文、叶内拓哉/写真

随筆家、串田孫一が晩年に書き綴った野鳥と花にまつわる珠玉のエッセイ。北海道から沖縄まで、四季折々の花々やダイナミックな野鳥の写真が彩りを添える、美しい随筆集。



『鳥が教えてくれた空』 三宮麻由子/著

4歳で視力を失った著者は、「この日を境に私は生まれ変わること余儀なくされた」という。成長にともなう人生への不安なのか、心のカギを開けたのは野鳥だった—。さえずりによって広がった感性の世界を綴るエッセイ。

注目! 雑誌プレゼント企画!! 

昨年開催した雑誌のバックナンバープレゼント企画を今年も行います。事前に欲しい雑誌を指定することは出来ません。当日早い者勝ちです！ただし冊数に限りがあります。もらいに行ったのになかった…ということもありますのでご了承ください。

\*期日：1月30日(月) 昼休み(なくなり次第、終了します)

\*配布対象雑誌：アエラ、ナンバー、MOE、日経エンターテイメント、ダ・ヴィンチ、non-no、Newton、CUT、装苑、オレンジページ

※もらえる雑誌は一人最大3冊までとします。組み合わせは自由です。

(例えば…アエラ・MOE・Newtonから1冊ずつでもいいし、オレンジページを3冊でもOK！)

重要! 図書館から3年次生へのお願い!!

3年次生は2月6日(月)から家庭学習期間に入ります。3年次生は今借りている図書館の本を2月3日(金)までに必ず返却してください！ただし、2月2日(木)は司書不在のため図書館が閉館になります。その日に返却本を持ってきた場合は、入り口のBOXに入れておいてください。借りた本を紛失した場合は、正直に申し出ること!!

家庭学習期間も借りることは可能ですが、その場合は必ず司書に声をかけてください。



# 100周年 新着図書案内

## 『よるのばけもの』

住野よる／双葉社（NDC913）

夜になると、僕は化け物になる。ある日、化け物になった僕は、忘れ物をとりに夜の学校へと忍びこんだ。誰もいない、と思っていた夜の教室には、なぜかクラスメイトの矢野さつきがいて…。『君の臍臓をたべたい』著者の最新作。

## 『誰も知らない世界のことわざ』

エラ・フランシス・サンダース  
／創元社（NDC388）

「ロバにスポンジケーキ」「ウサギになって旅をする」…。文化によって食べるものや着ている服が違ふように、ことわざも異なる。世界のユニークなことわざや慣用句を51語集め、感性あふれる文と絵で紹介する。

## 『雨利終活写真館』

芦沢央／小学館（NDC913）

巣鴨の路地裏にひっそり佇む、遺影専門の写真館。最愛の人へ、最期に、最高の私を遺したい。人生の終焉を迎える時、本当に大切なものが見えてくる。見事な謎解きで紡ぎ出す、ミステリー珠玉の4編。

## 『夜空と星の物語 日本の伝説編』

森山晋平

／パイインターナショナル（NDC443）  
浦島太郎と出会ったすばる、怠け者を追いかけるオリオン座…。北海道から沖縄まで。日本各地に伝わる星空の伝説、23の物語を、美しい星空の写真とともに紹介する。

## 『菜食菓子店』

ミトラカルナ

／グラフィック社（NDC598）

動物性食品を一切使わないのに、香り豊かで風味たっぷりの焼き菓子が評判のミトラカルナのレシピ集。菜食の人も、アレルギーの人も、そうでない人もたのしめるお菓子を紹介する。

## 『いまさら翼といわれても』

米澤穂信／KADOKAWA（NDC913）

神山市が主催する合唱祭の本番前、ソロパートを任されている千反田えるが行方不明になってしまった。折木奉太郎が導き出し、ひとりで向かったえるの居場所は。そして、彼女の真意とは？瑞々しくもビターな全6篇の青春ミステリー。“古典部シリーズ”最新作。

## 『外国人がムッとするヤバイしぐさ』

ジャニカ・サウスウィック  
／青春出版社（NDC382）

うっかりやっていませんか？OKサイン、鼻をすする、口を手でふさぐ、乾杯、首をかしげる、目をそらす、子どもの頭をなでる…。日本人の常識は、世界の非常識、なのかもしれない。

## 『空棺の鳥』

阿部智里／文藝春秋（NDC913）

大人気「八咫鳥」シリーズ、待望の最新刊はエリート武官を目指す少年たちの成長譚。生まれも育ちも異なる少年たちは、勁草院の過酷な争いを勝ち抜き、日嗣の御子を護る武人になれるのか？

## 000 総記

・『現代用語の基礎知識 2017』文藝春秋（NDC031）

## 200 歴史

・『超現代語訳戦国時代』房野史典／幻冬舎（NDC210）

・『戦争まで 歴史を決めた交渉と日本の失敗』加藤陽子／朝日出版社（NDC210）

## 300 社会科学

・『高校生からわかる社会科学の基礎知識』酒井峻一／ベレ出版（NDC301）

・『経済用語図鑑』花岡幸子／WAVE 出版（NDC330）

・『ゼロから1ヶ月で受かる大学入試面接のルールブック』神崎史彦／KAOKAWA（NDC376）

・『未来記念日 アニバーサリー2017～2022』日外アソシエーツ（NDC386）

## 400 自然科学

・『外来種は本当に悪者か？』フレッド・ピアス／草思社（NDC468）

・『賞味期限のウソ 食品ロスはなぜ生まれるのか』井出留美／幻冬舎[新書]（NDC498）

## 500 技術工学

・『世界を変える100の技術』日経BP社（NDC502）

・『「環境を守る」とはどういうことか』尾関周二[他]／岩波書店[ブックレット]（NDC519）

## 600 産業

・『ふるさと革命 “消滅”に挑むリーダーたち』片山修／潮出版社（NDC601）

・『観光立国の正体』藻谷浩介／新潮社[新書]（NDC689）

## 700 芸術・スポーツ

・『ちはやふる 21～30巻』末次由紀／講談社（NDC726）

・『賢く食べて結果を出す！スボめし』細野恵美／朝日新聞出版（NDC780）

・『聖の青春』大崎善生／KADOKAWA[文庫]（NDC796）

## 800 言語

・『大学入試小論文をひとつひとつわかりやすく。』伊藤博貴／学研（NDC816）

## 900 文学

・『校閲ガール トルネード』宮木あや子／KADOKAWA（NDC913）

・『クランクイン』相場英雄／双葉社（NDC913）

・『クローバーナイト』辻村深月／光文社（NDC913）

・『シャルロットの憂鬱』近藤史恵／光文社（NDC913）

・『雪煙チェイス』東野圭吾／実業之日本社[文庫]（NDC913）

・『みつばの郵便屋さん 先生が待つ手紙』小野寺史宜／ポプラ社（NDC913）

・『神様の御用人 6』浅葉なつ／KADOKAWA[文庫]（NDC913）

・『X'mas stories 一年でいちばん奇跡が起きる日』朝井リョウ[他]／新潮社[文庫]（NDC913）

・『吾輩も猫である』赤川次郎[他]／新潮社[文庫]（NDC913）

・『コンビニたそがれ堂 祝福の庭』村山早紀／ポプラ社[文庫]（NDC913）

